

## ■コマツナ ベた掛け資材で害虫を防ぐ

園芸研究家●成松次郎

コマツナは耐寒性があり、冬の寒さで特においしくなります。ビタミン類、カルシウム、鉄分を多く含む緑黄色野菜です。

### 【品種】

近年は葉が丸く、緑が濃い品種が好まれ、秋冬まきでは「はまつづき」(サカタのタネ)、「楽天」(タキイ種苗)、春夏まきでは「いなむら」(サカタのタネ)、「菜々音」(タキイ種苗)などが良いでしょう。

### 【栽培期間】

一般地ではほぼ周年栽培でき、草丈 20～25cm を目標に、春まき(3～5月)は 30～50日、夏まき(6～8月)は 20～25日、秋まき(9～11月)は 30～60日 で収穫します。冬まき(12～2月)は、トンネルやべた掛け資材で保温し、60～90日 で収穫できます。生育が早く収穫遅れになりやすいため、1週間置きに少しずつまいて、長く収穫を楽しむのが良いでしょう。

### 【畑の準備】

種まき 2週間前に 1平方 m 当たり苦土石灰 100g をまいて畑をよく耕し、1週間前に化成肥料(NPK 各成分で 10%) 100g と堆肥 2～3kg を施し、土とよく混ぜておきます。幅 90cm の栽培床を作り、畝に直角に条間 15～20cm の種まき溝を切ります。このとき、まき溝は支柱や木板を土に押し付け、溝を付けると深さが一定になります(図 1)。

図1 畑の準備

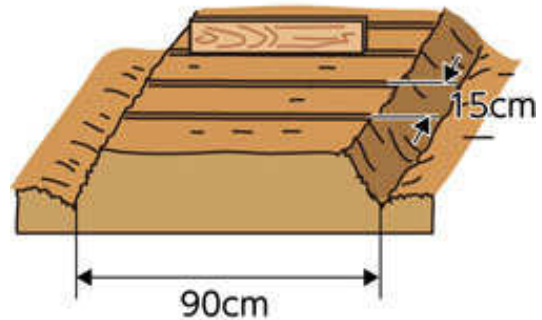


図2 種まき

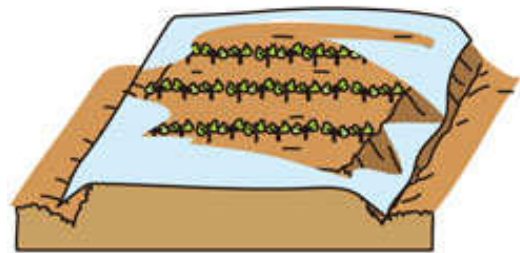
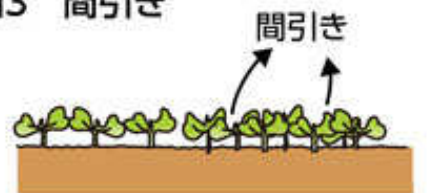
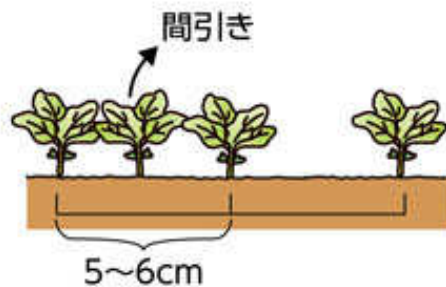


図3 間引き



(1) 子葉が重なる部分を間引く



(2) 草丈7~8cmのときに5~6cm間隔に間引く

### **【種まき】**

種が重ならないように 1cm くらいの間隔でまき、土を軽くかぶせておきます。種まき後はべた掛け資材を使い、乾燥や強い雨を防ぐと同時に害虫の予防にも有効です。被覆は収穫の 5～7 日前に取り除きます(図 2)。

### **【間引き】**

初めは、本葉が見える頃に子葉の重なっている部分を間引きます。その後、葉が触れ合う程度に間引き、最後に 5～6cm 程度の間隔にします。間引き後は株がぐらつくのを防ぐため、株元に土寄せします(図 3)。

### **【病虫害防除】**

生育期間が短いので、農薬の使用は生育初期に限ります。不織布のべた掛けやネット栽培によりアブラムシ、コナガなどの害虫の侵入を防ぎます。

### **【収穫】**

草丈 20～25cm 程度で根を付けて抜き取り収穫をします。収穫が遅れると葉が堅くなり、食味も落ちてしまいます。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。